

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習6 (JLPT対策)	1・2年生	4	小林	火曜日 1時限目
	通年			

概要

日本語能力試験N2の合格を目指し、N2レベルの言語知識(漢字・語彙・文法)、読解、聴解を学習する。

到達目標

日本語能力試験N2合格に必要な言語知識(漢字・語彙・文法)、読解力、聴解力を身につけることが目標。

受講要件

日本語能力試験N3相当以上の日本語力。

評価方法

小テスト・期末テスト・平常点(出席率・授業態度・積極性)で総合的に評価。

テキスト

国書刊行会
「日本語能力試験 直前対策 N2文字・語彙・文法」
JLPT対策問題集

参考書

適宜、状況に応じて使用。

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	授業ガイダンス / 第1回模擬テスト1(文字語彙)	1	第10回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
2	第1回模擬テスト2(文法) / 聴解	2	第10回模擬テスト2(文法) / 聴解
3	第2回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	3	第11回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
4	第2回模擬テスト2(文法) / 聴解	4	第11回模擬テスト2(文法) / 聴解
5	第3回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	5	第12回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
6	第3回模擬テスト2(文法) / 聴解	6	第12回模擬テスト2(文法) / 聴解
7	第4回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	7	N2模試(3)
8	第4回模擬テスト2(文法) / 聴解	8	N2模試(4)
9	第5回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	9	第13回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
10	第5回模擬テスト2(文法) / 聴解	10	第13回模擬テスト2(文法) / 聴解
11	N2模試(1)	11	第14回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
12	N2模試(2)	12	第14回模擬テスト2(文法) / 聴解
13	第6回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	13	第15回模擬テスト1(文字語彙) / 読解
14	第6回模擬テスト2(文法) / 聴解	14	第15回模擬テスト2(文法) / 聴解
15	第7回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	15	付録 重要語彙 1 / 読解
16	第7回模擬テスト2(文法) / 聴解	16	付録 重要語彙 2 / 聴解
17	第8回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	17	付録 重要語彙 3 / 読解
18	第8回模擬テスト2(文法) / 聴解	18	学期末試験
19	第9回模擬テスト1(文字語彙) / 読解	19	
20	第9回模擬テスト2(文法) / 聴解	20	
21	学期末試験	21	

教員紹介

大学卒業後、一般企業に勤務。その後、日本語教師に転職。主に日本語学校で勤務し、様々な国の多くの留学生に日本語を指導。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習9 (漢字・語彙)	1・2年生	4	小林	金曜日 1時限目
	通年			

概要

日本語能力試験N2の合格を目指し、N2レベルの漢字・語彙力を習得する。□

到達目標

日本語能力試験N2合格に必要な漢字・語彙力を身に着けることが目標。

受講要件

日本語能力試験N3相当以上の日本語力。

評価方法

小テスト・期末テスト・平常点(出席率・授業態度・積極性)で総合的に評価。

テキスト

三修社「45日間で合格レベル！日本語試験対策 N2 漢字語彙」

参考書

適宜、状況に応じて使用。

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	授業ガイダンス 第1週1日目 漢字:贈り物1/料理 語彙:動詞 気持ち1	1	第5週1日目 漢字:砂浜/水1 語彙:名詞 人付き合い
2	小テスト	2	小テスト
3	第1週2日目 漢字:引越し/雑誌 語彙:動詞 気持ち2	3	第5週2日目 漢字:地球/災害1 語彙:名詞 身の回り
4	小テスト	4	小テスト
5	第1週3日目 漢字:掃除/交通1 語彙:動詞 物の状態・動き1	5	第5週3日目 漢字:教育1/教育2 語彙:名詞 抽象
6	小テスト	6	小テスト
7	第1週4日目 漢字:交通2/産業 語彙:動詞 物の状態・動き2	7	第5週4日目 漢字:法律/警察 語彙:名詞 体・症状
8	小テスト	8	小テスト
9	第1週5日目 漢字:銀行1/銀行2 語彙:動詞 物の状態・動き3	9	第5週5日目 漢字:政治1/攻撃 語彙:名詞 感情・感覚
10	小テスト	10	小テスト
11	第3週1日目 漢字:ビジネスマン/労働 語彙:形容詞 性格	11	第7週1日目 漢字:花2/色 語彙:漢語 意/引/応
12	小テスト	12	小テスト
13	第3週2日目 漢字:採用/営業 語彙:形容詞 状態・様子1	13	第7週2日目 漢字:動物/水2 語彙:漢語 加/過/価
14	小テスト	14	小テスト
15	第3週3日目 漢字:人事/経営 語彙:形容詞 状態・様子2	15	第7週3日目 漢字:地質調査1/地質調査2 語彙:漢語 解/確/活
16	小テスト	16	小テスト
17	第3週4日目 漢字:販売/利益 語彙:形容詞 感覚・気持ち1	17	第7週4日目 漢字:災害2/災害3 語彙:漢語 間/感/観
18	小テスト	18	小テスト
19	第3週5日目 漢字:戦略/出版 語彙:形容詞 感覚・気持ち2	19	第7週5日目 漢字:気候/文化2 語彙:漢語 期/気/記
20	小テスト	20	学期末試験
21	学期末試験	21	

教員紹介

大学卒業後、一般企業に勤務。その後、日本語教師に転職。主に日本語学校で勤務し、様々な国の多くの留学生に日本語を指導。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習10	2年次	4	齋藤佐和子	月曜日・4時間目
	通年			

概要

N2レベルの文法と聴解を学習する。文法は理解、練習だけではなく文字語彙の習得もする。

到達目標

JLPTN2の合格を目指す。N2レベルの文法と聴解の学習を通して、4技能の応用ができるようになる。

受講要件

必修

評価方法

期末試験2回の結果と平常点(出席、宿題提出、授業態度など)を総合して評価を出す。

テキスト

『新完全マスターN2文法』、『ニュースの日本語』『模試と対策N2』、(聴解) その他

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期				後期			
1	文法N2	1週1日目	聴解N2(抜粋)	1	文法N2	3週5日目	聴解N2
2	文法N2	1週2日目	聴解N2	2	文法N2	3週6日目	聴解N2
3	文法N2	1週3日目	聴解N2	3	文法N2	3週7日目	聴解N2
4	文法N2	1週4日目	聴解N2	4	文法N2	4週1日目	聴解N2
5	文法N2	1週5日目	聴解N2	5	文法N2	4週2日目	聴解N2
6	文法N2	1週6日目	聴解N2	6	文法N2	4週3日目	聴解N2
7	文法N2	1週7日目	聴解N2	7	文法N2	4週4日目	聴解N2
8	文法N2	2週1日目	聴解N2	8	文法N2	4週5日目	聴解N2
9	文法N2	2週2日目	聴解N2	9	文法N2	4週6日目	聴解N2
10	文法N2	2週3日目	聴解N2	10	文法N2	4週7日目	聴解N2
11	文法N2	2週4日目	聴解N2	11	文法N2	4週1日目	聴解N2
12	文法N2	2週5日目	聴解N2	12	文法N2	4週2日目	聴解N2
13	文法N2	2週6日目	聴解N2	13	文法N2	4週3日目	聴解N2
14	文法N2	2週7日目	聴解N2	14	文法N2	4週4日目	聴解N2
15	文法N2	3週1日目	聴解N2	15	文法N2	4週5日目	聴解N2
16	文法N2	3週2日目	聴解N2	16	文法N2	4週6日目	聴解N2
17	文法N2	3週3日目	聴解N2	17	文法N2	4週7日目	聴解N2
18	文法N2	3週4日目	聴解N2	18	復習		
19	期末試験			19	期末試験		
20	予備			20	予備		

教員紹介

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習8	2年次	4	齋藤佐和子	月曜日・3時間目
	通年			

概要

N2レベルの文法と読解を学習する。読解は内容理解だけではなく文字語彙の習得もする。

到達目標

JLPTN2の合格を目指す。N2レベルの文法と読解の学習を通して、4技能の応用ができるようになる。

受講要件

必修

評価方法

期末試験2回の結果と平常点(出席、宿題提出、授業態度など)を総合して評価を出す。

テキスト

『新完全マスターN2文法』、『総まとめN2』『模試と対策N2』、(読解) その他

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期			後期		
1	文法N2 1週1日目	読解N2(抜粋)	1	文法N2 3週5日目	読解N2
2	文法N2 1週2日目	読解N2	2	文法N2 3週6日目	読解N2
3	文法N2 1週3日目	読解N2	3	文法N2 3週7日目	読解N2
4	文法N2 1週4日目	読解N2	4	文法N2 4週1日目	読解N2
5	文法N2 1週5日目	読解N2	5	文法N2 4週2日目	読解N2
6	文法N2 1週6日目	読解N2	6	文法N2 4週3日目	読解N2
7	文法N2 1週7日目	読解N2	7	文法N2 4週4日目	読解N2
8	文法N2 2週1日目	読解N2	8	文法N2 4週5日目	読解N2
9	文法N2 2週2日目	読解N2	9	文法N2 4週6日目	読解N2
10	文法N2 2週3日目	読解N2	10	文法N2 4週7日目	読解N2
11	文法N2 2週4日目	読解N2	11	文法N2 4週1日目	読解N2
12	文法N2 2週5日目	読解N2	12	文法N2 4週2日目	読解N2
13	文法N2 2週6日目	読解N2	13	文法N2 4週3日目	読解N2
14	文法N2 2週7日目	読解N2	14	文法N2 4週4日目	読解N2
15	文法N2 3週1日目	読解N2	15	文法N2 4週5日目	読解N2
16	文法N2 3週2日目	読解N2	16	文法N2 4週6日目	読解N2
17	文法N2 3週3日目	読解N2	17	文法N2 4週7日目	読解N2
18	文法N2 3週4日目	読解N2	18	復習	
19	期末試験		19	期末試験	
20	予備		20	予備	

教員紹介

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習1(漢字・語彙)	1・2年生	4	宮本	月曜日 2時限目
	通年			

概要

JLPT対策学習内容の基礎を軸に、各トピックではそれぞれの基本・初級から始まり、ステップアップを重ねていく。教科書、関連内容などをメインの題材に着目しつつ、学習の進捗状況によって、柔軟に段階とスピードの加減と調整していく。

到達目標

過去の学習してきた経験・能力を活かして、新しい文章を通じて、各場面の内容を交えて次の展開を読み解く力、基礎からの練習を養っていく。

受講要件

インプット&アウトプットの繰り返し作業が主軸の予定なので、注意力と集中力を徐々に引き上げるので、随時対応を求める。

評価方法

積極的な授業参加型の希望から、平常点に含まれる授業態度・宿題、各試験、出席・欠席、遅刻、早退を含めた総合的な成績を加味して、最終成績を評価する。

テキスト

三修社「45日間で合格レベル！日本語試験対策 N2 漢字語彙」

参考書

JLPT対策の専門的な教科書の中で、テキストに関連する参考書となる。

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	第2週 漢字 1日目 花/ファッション / 第2週 語彙 1日目 動詞 身体動作(1)	1	第4週 漢字 5日目 チャレンジ / 第4週 語彙 5日目 副詞的表現
2	小テスト	2	小テスト
3	第2週 漢字 2日目 様子を表す言葉1 / 第2週 語彙 2日目 動詞 身体動作(2)	3	第6週 漢字 1日目 住宅1/住宅2 / 第6週 語彙 1日目 名詞 その他
4	小テスト	4	小テスト
5	第2週 漢字 3日目 歴史/健康1 / 第2週 語彙 3日目 動詞 日常行為・他(1)	5	第6週 漢字 2日目 贈り物2/調味料 / 第6週 語彙 2日目 接続表現や副詞
6	小テスト	6	小テスト
7	第2週 漢字 4日目 体1/体2 / 第2週 語彙 4日目 動詞 日常行為・他(1)	7	第6週 漢字 3日目 交通3/サラリーマン / 第6週 語彙 3日目 カタカナ語 仕事・勉強
8	小テスト	8	小テスト
9	第2週 漢字 5日目 診察1/治療 / 第2週 語彙 5日目 動詞 日常行為・他(3)	9	第6週 漢字 4日目 コピー/様子を表す言葉2 / 第6週 語彙 4日目 カタカナ語 衣食住
10	小テスト	10	小テスト
11	第4週 漢字 1日目 サスペンス1/サスペンス2 / 第4週 語彙 1日目 副詞的表現	11	第6週 漢字 5日目 様子を表す言葉3 / 服装 / 第6週 語彙 5日目 カタカナ語 余暇
12	小テスト	12	小テスト
13	第4週 漢字 2日目 ロマンズ1/ロマンズ2 / 第4週 語彙 2日目 副詞的表現	13	第8週 漢字 1日目 様子を表す言葉3 / 服装 / 第8週 語彙 1日目 漢語 実/
14	小テスト	14	小テスト
15	第4週 漢字 3日目 仲間1/仲間2 / 第4週 語彙 3日目 副詞的表現	15	第8週 漢字 2日目 様子を表す言葉3 / 服装 / 第8週 語彙 2日目 カタカナ語 余暇
16	小テスト	16	小テスト
17	第4週 漢字 4日目 敬語1/敬語2 / 第4週 語彙 4日目 副詞的表現	17	学期末試験
18	まとめ	18	追試日
19	学期末試験	19	
20	追試日	20	

教員紹介

担当教員は、日本語教師養成講座を卒業してから、日本語教員の業務にも従事しており、授業では社会の需要に合わせたスキルアップを目指していく。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
就職対策	2年次	4	佐藤 由里	火曜日 4時間目

概要

日本での就職活動において必要な準備と対策を行う。

到達目標

卒業時に学生一人一人が希望する進路に進めるようにする。

受講要件

特になし

評価方法

平常点(授業態度、積極性、出席率)、課題、実技で総合評価します。

テキスト

プリントを授業で配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション 自己紹介	1	秋からの就職活動 前期の活動報告、今後の活動①
2	就職活動と採用選考の流れ、自分の就活計画	2	秋からの就職活動 前期の活動報告と今後の活動②
3	日本企業の雇用形態、在留資格	3	求人情報の確認、セミナーについて
4	業界研究、企業研究、説明会への参加、エントリーとは	4	時事問題①
5	エントリーシートで聞かれる質問	5	時事問題②
6	エントリーシートの作成①	6	SDG's
7	エントリーシートの作成②	7	企業や社会へどのように貢献するか①
8	エントリーシート作成③	8	企業や社会へどのように貢献するか②
9	企業へのメール、レターの書き方	9	企業講話
10	就活 身だしなみの確認	10	総合トレーニング
11	面接対策 一次面接 よく聞かれる質問	11	総合トレーニング
12	面接対策 一次面接 マナーと言葉遣い	12	総合トレーニング
13	面接対策 一次面接	13	総合トレーニング
14	面接対策 グループディスカッション	14	総合トレーニング
15	面接対策 グループディスカッション	15	総合トレーニング
16	面接対策 最終面接	16	総合トレーニング
17	面接対策 最終面接	17	総合トレーニング
18	実技 期末試験①	18	総合トレーニング
19	実技 期末試験②	19	期末試験
20	前期まとめ	20	全体のまとめ

教員紹介

担当教員は、17年間企業に勤めた後、研修・教育事業を立ち上げ企業の代表を務める。又、現在、大学准教授、キャリアカウンセラー、専門学校 非常勤講師、としても学生指導に当たっている。MBA、秘書検定1級、ビジネスマナー実務検定1級取得。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
ITリテラシー	1年次	4	大崎	木曜日4時限目
	通年			

概要

Windowsの基礎知識、タイピング、Word、Excel、PowerPointの操作を学習する。

到達目標

Word、Excel、PowerPointの基本的な使い方を理解し、アプリケーションを使った簡単な資料が作成できる。

受講要件

なし

評価方法

平常点 40%
期末試験 60%

テキスト

30時間でマスターWord2021 実教出版
30時間でマスターExcel2021 実教出版

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	オリエンテーション	1	タイピング／Excel 表示形式、配置
2	Windows基本操作、ローマ字	2	タイピング／Excel 罫線、スタイル
3	Windows基本操作、Word 文字入力	3	タイピング／Excel 絶対参照、フォント設定
4	タッチタイピング	4	タイピング／Excel MAX、MIN、COUNT、COUNTA、COUNTBLANK、ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN
5	タイピング／Word 特殊文字入力、ページ設定	5	タイピング／Excel IF、比較演算子
6	タイピング／Word 段落設定	6	タイピング／Excel AND、OR、IFのネスト
7	タイピング／Word ビジネス文書、書式設定	7	タイピング／Excel 条件付き書式、スパークライン
8	タイピング／Word 表の操作	8	タイピング／Excel 棒、積み上げ、折れ線、円
9	タイピング／Word アイコン、画像の操作	9	タイピング／Excel RANKEQ、VLOOKUP
10	タイピング／Word ワードアート、スクショの操作	10	タイピング／Excel COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF、シート間の集計
11	タイピング／Word 図形描画	11	タイピング／Excel 日付書式、ふりがな、並び替え
12	タイピング／Word スマートアートの操作	12	タイピング／Excel 検索、置換、オートフィルタ、ピボット
13	タイピング／Word ポスターの作成	13	タイピング／Excel 復習
14	タイピング／Word 復習	14	タイピング／Excel 期末試験
15	タイピング／Word 期末試験	15	PowerPoint 基本操作①
16	タイピング／Excel 基本操作	16	PowerPoint 基本操作②
17	タイピング／Excel 数式、SUM、印刷	17	PowerPoint 期末課題の制作
18	タイピング／Excel オートフィル、行列操作、AVERAGE	18	PowerPoint 期末課題の制作
19		19	
20		20	

教員紹介

担当教員は、IT企業にてエンジニアからマネジメントまでを経験し、企業内のエンジニア育成に従事した。その後、講師としてITリテラシーやプログラミングの教育、大学向けの情報処理教材の執筆をする。また、日本語教育の修士号を取得し、外国人IT人材のための日本語教育について研究する。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
ビジネス知識	1年次	4	村井和博	水曜日4時限目
	通年			

概要

日本企業のビジネスパーソンとして必要なビジネス能力、コミュニケーションの方法や問題解決能力などを

到達目標

ビジネス能力検定3級合格もしくは同程度の知識・能力を取得することを目標とします。

受講要件

日本企業のビジネスに興味のある者

評価方法

検定合格および期末試験・受講態度など総合的に評価します。

ビジネス

留学生向けふりがな付き
6年度 ビジネス能力検定ジョブパス3級
テキスト

202
公式

参考書

必要に応じて配布します。

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	ガイダンス	1	仕事への取り組み方(1)
2	キャリアと仕事へのアプローチ(1)	2	仕事への取り組み方(2)
3	キャリアと仕事へのアプローチ(2)	3	仕事への取り組み方(3)
4	キャリアと仕事へのアプローチ(3)	4	仕事への取り組み方(4)
5	仕事の基本となる8つの意識(1)	5	ビジネス文書の基本(1)
6	仕事の基本となる8つの意識(2)	6	ビジネス文書の基本(2)
7	仕事の基本となる8つの意識(3)	7	ビジネス文書の基本(3)
8	コミュニケーションとビジネスマナーの基本(1)	8	ビジネス文書の基本(4)
9	コミュニケーションとビジネスマナーの基本(2)	9	電話対応(1)
10	コミュニケーションとビジネスマナーの基本(3)	10	電話対応(2)
11	指示の受け方と報告、連絡・相談(1)	11	統計・データの読み方・まとめ方(1)
12	指示の受け方と報告、連絡・相談(2)	12	統計・データの読み方・まとめ方(2)
13	話し方と聞き方のポイント(1)	13	統計・データの読み方・まとめ方(3)
14	話し方と聞き方のポイント(2)	14	情報収集とメディアの活用(1)
15	来客対応と訪問の基本マナー(1)	15	情報収集とメディアの活用(2)
16	来客対応と訪問の基本マナー(2)	16	情報収集とメディアの活用(3)
17	会社関係でのつき合い(1)	17	会社を取り巻く環境と経済の変化(1)
18	会社関係でのつき合い(2)	18	会社を取り巻く環境と経済の変化(2)
19	前期末試験	19	後期末試験
20	追試予備日・総チェック	20	追試予備日・総チェック

教員紹介

メーカーにて商品企画、計数管理などを担当。その後コンサル企業にて輸出入業務及び会計教育に携わる。現在、専門学校、大学でビジネス関連の授業をおこなっている。

2026年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
キャリアデザイン	1年次	4	高橋 俊介	金曜日 4限目
	通年			

概要

就職活動に向けての意識・準備をメインに行う。ワークなどを踏まえビジョン(計画)を描く。そして、日本式の就職活動のスケジュール感を理解してもらう。加えて、履歴書作成指導、面接指導も行う。

到達目標

就職活動に必要なことを身につけ、履歴書や面接などで効果的な自己PRができるようになる。

受講要件

評価方法

出席率30% / 授業態度30% / 試験40%
※ワークや提出物は授業態度に含める

テキスト

未定
※毎回プリント配布の可能性も

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	ガイダンス(就職活動スケジュール、授業内ルール 等)	1	前期の復習 / 2026年春・夏の就活関連ニュース
2	日本の文化を学びながら、就職活動を知る	2	説明会・面接会などの就活イベントを知る
3	【ワーク】日本と自国を比較(マナー、礼儀、文化など) 1	3	業界・業種・企業について知る 2
4	【ワーク】日本と自国を比較(マナー、礼儀、文化など) 2	4	ハローワークの紹介と求人票の見かた
5	ビザについて(技・人・国 / 特定技能 / 特定活動 など)	5	【ワーク】求人票を見て、クラスメイトに紹介しよう
6	特定技能ビザとは?(必要性、種類、現在の状況 など)	6	自己分析 3 (自分から見た“自分”、他人から見た自分 等)
7	就活にかかる色々な費用 / JLPT以外の資格	7	自己PRと志望動機 1
8	業界・業種・企業について知る 1 (大企業と中小企業)	8	自己PRと志望動機 2
9	DLSの先輩がどんな会社を受けてきたか	9	履歴書 2
10	アルバイトではなく社員、求められることの違い	10	履歴書 3
11	【中間試験】 これまでに授業で習った用語 ※予定	11	【中間試験】 これまでに授業で習った用語 ※予定
12	中間試験のフィードバック / 2026年後半の行動計画	12	中間試験のフィードバック / 2027年前半の行動計画
13	自己分析 1 (過去を振り返る)	13	面接で良く聞かれる質問を知り、回答を準備
14	自己分析 2 (自分の性格、留学理由、好き嫌い 等)	14	面接練習 1
15	履歴書 1 (基本情報を書く) / 自己PRについて	15	就活の身だしなみ(外部講師登壇予定)
16	【ワーク】人前で話す(自分を、DLSを、アルバイト先をPRする) 1	16	履歴書用写真のルールと準備 / 就職情報サイト登録
17	【ワーク】人前で話す(自分を、DLSを、アルバイト先をPRする) 2	17	2年生・OG・OB就職活動体験談とアドバイス
18	就活に大事な立ち居振る舞い 1	18	面接練習 2
19	【期末試験】 模擬面接 ※予定	19	【期末試験】 模擬面接 ※予定
20	期末試験のフィードバック / 予備日	20	期末試験のフィードバック / 予備日

教員紹介

大学の情報系学部を卒業後、広告代理店や人材系企業等で営業職を経験。その後、日本語学校で教務兼事務職を経て、現在はフリーとして日本語講師、IT系科目講師やオンラインでの就職面接対策レッスンなど幅広く携わっている。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSコンテンツ制作概論	1年次	4	金守東	月・1限目
	通年			

概要

AIツールとSNSを活用し、コンテンツの企画・デザイン・動画制作からデータ分析まで、マーケティングの実務を体系的に学ぶ実践型の講義です。

到達目標

未経験から即戦力のマーケターへ。AIを駆使した制作スキルとデータ分析力を習得し、独自の実務ポートフォリオを完成させます。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(50%)、小テスト(10%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	SNSプラットフォーム別の特性把握とターゲットペルソナの設定	1	YouTubeロングフォームアルゴリズムの分析と視聴維持時間 (AVD) の
2	AIチャットボット (ChatGPT, Gemini) を活用したアイディーションと企	2	クリックを呼ぶサムネイル (Thumbnail) デザインとコピーライティング
3	Claudeを活用したエモーショナルなコピーライティングとテキストの最適化	3	Eデュテインメント (Edu-tainment) のロングフォームスクリプト作成法
4	Project Week : 自身のブランドチャンネル企画書の完成 (総合実習)	4	Project Week : パイロット動画の制作とチャンネルSEOのセットアップ
5	視覚的階層構造 (Hierarchy) とCanvaレイアウトの基礎	5	テキスト基盤SNS (X, Facebook) のエコシステムとフックとなるコピーラ
6	韓国/日本のデザイントレンド分析とMiriCanvasの活用法	6	Claudeを活用した感性/論理カスタマイズ型コピーライティングの高度化
7	ブランドキット (Brand Kit) の構築と一貫した視覚言語の設計	7	情報性長文コンテンツ (ブログ、ニュースレター) の企画とSEOの基礎
8	Project Week : チャンネルアイデンティティとビジュアルアセットパッケージ	8	Project Week : ワンソース・マルチユース (OSMU) テストキャンペーン
9	AI画像生成の原理と画像プロンプトエンジニアリング	9	Meta (Instagram/Facebook) アルゴリズムとインサイト分析
10	ブランドキャラクターと一貫したビジュアルアセットの生成	10	YouTube Studioの深層データ分析とトラフィックソースの把握
11	AI画像レタッチと高解像度化 (Upscaling)	11	X (Twitter) データの抽出とExcelを活用したローデータ (Raw Data)
12	Project Week : AI基盤の統合ブランドビジュアルパッケージの完成	12	Project Week : 月間成果レポートの作成とアクションプラン (Insight)
13	ショートフォームコンテンツの文法の理解と企画案 (絵コンテ) の作成	13	パフォーマンスマーケティングの理解とMeta (Facebook/Instagram)
14	CapCutを活用したモバイル/PCのカット編集とテンポ調整	14	ターゲティングの高度化とデータトラック (Pixel) の理解
15	エフェクト、オーディオの活用およびプラットフォーム別のアルゴリズム最適化	15	A/Bテストの企画と重要業績評価指標 (CPA/ROAS) の分析
16	Project Week : 自身のブランドのショートフォームシリーズ3編の制作と	16	Project Week : B2B/B2Cカスタマイズ型のフルファンネル (Full-Funne
17	Vrewの基礎とSTT基盤の自動字幕生成およびスタイリング	17	実務型ポートフォリオアーカイブプラットフォームの構築 (Notion/GitHub
18	TTS (Text-to-Speech) を活用したAI音声ダビングと多言語ローカ	18	実践問題解決プロジェクト (ミニハッカソン)
19	テキスト/台本に基づく完全自動動画生成 (Text-to-Videoの基礎)	19	AI模擬面接とポートフォリオプレゼンテーション (Pitching)
20	Project Week : 完全自動化「Faceless」チャンネルの立ち上げ実習	20	Project Week : 最終評価、ポートフォリオ提出、およびキャリアロードマ

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
パイプコーディング実務	2年次	4	金 守東	月・2限目
	通年			

概要

生成AIを活用し、非情報系の留学生でもゼロから自力でフルスタックWebサービスを構築・運用できる実践的なコーディング手法を学ぶ。

到達目標

AIと協働してビジネス課題を解決するシステムを開発・公開し、日本IT企業での即戦力を証明するポートフォリオを完成させる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	パイプコーディングパラダイムとCursor AIの環境セットアップ	1	パイプコーディングのためのPython基礎と業務自動化
2	Google AI Studio入門とプロンプトの基礎	2	AIと共に行うWebクロールとトレンドデータ収集
3	AIと共に行う最初のコード作成 (HTML/CSS)	3	Pandasを活用したAIデータ前処理と分析
4	Project Week : 自分だけのAIコーディングツールセット紹介ページの制作	4	Project Week : 自動化されたSNSマーケティングデータレポートジェネレーション
5	フレームワーク基盤の高速パブリッシング (Tailwind CSS & Cursor AI)	5	リレーショナルデータベース (RDBMS) の理解とAIスキーマ設計
6	AIを活用したJavaScript (JS) ロジック入門	6	パイプコーディングを活用した高度なSQLクエリ (CRUD & JOIN)
7	デザインシステムとAIアセットの生成 (Google AI Studio活用)	7	クラウドDB連携 (Supabase & API統合)
8	Project Week : レスポンシブなマルチページビジネスサイトの制作	8	Project Week : SNSマーケティング連携入学相談CRMダッシュボード
9	複雑なデータ構造とAI基盤のロジック設計 (Array & Object)	9	システムプロンプトエンジニアリングとAIペルソナ制御
10	状態管理 (State) と動的UIの同期化	10	フューショットラーニング (Few-Shot Learning) とデータに基づくモデル最適化
11	AI-Drivenデバッグと単体テスト (Unit Test)	11	独自データ連携の基礎 : RAG (検索拡張生成) コンセプトの体験
12	Project Week : データ駆動型インタラクティブ家計簿アプリの制作	12	Project Week : 企業向けナレッジベースAIヘルプデスクの制作
13	非同期プログラミングと「待機」の美学 (Async/Await)	13	AI基盤の実践トラブルシューティングと障害報告書 (RCA) の作成
14	外部API連携 : 世界のデータを自分のWebへ (Fetch API)	14	クリーンコード (Clean Code) とAI自動リファクタリング
15	Google Gemini API : 自分のサービスにAIの頭脳を組み込む	15	テスト自動化の導入 : バグを未然に防ぐ
16	Project Week : AIマルチアシスタントプラットフォームの制作	16	Project Week : レガシーコードの救出とCI/CDパイプラインの構築
17	サービス企画書の導出とAI基盤アーキテクチャ設計	17	最終ビジネスソリューションの企画とアーキテクチャの確定
18	フロントエンドおよびAIロジックの統合開発 (MVP実装)	18	パイプコーディング基盤のフルスタック開発とAIモデルの高度化連携
19	テスト、デバッグ、例外処理 (UX/UI改善)	19	最終QA、クラウドデプロイ、パフォーマンスの最適化
20	Project Week : 1学期サービスの最終デプロイと発表準備	20	ポートフォリオの完成とAI模擬技術面接 (最終評価)

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AI基盤コーディング自動化	1年次	4	金守東	月・2限目
	通年			

概要

生成AIを活用し、非情報系の留学生でもゼロから自力でフルスタックWebサービスを構築・運用できる実践的なコーディング手法を学ぶ。

到達目標

AIと協働してビジネス課題を解決するシステムを開発・公開し、日本IT企業での即戦力を証明するポートフォリオを完成させる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	パイプコーディングパラダイムとCursor AIの環境セットアップ	1	パイプコーディングのためのPython基礎と業務自動化
2	Google AI Studio入門とプロンプトの基礎	2	AIと共に行うWebクロールとトレンドデータ収集
3	AIと共に行う最初のコード作成 (HTML/CSS)	3	Pandasを活用したAIデータ前処理と分析
4	Project Week : 自分だけのAIコーディングツールセット紹介ページの制作	4	Project Week : 自動化されたSNSマーケティングデータレポートジェネレーション
5	フレームワーク基盤の高速パブリッシング (Tailwind CSS & Cursor AI)	5	リレーショナルデータベース (RDBMS) の理解とAIスキーマ設計
6	AIを活用したJavaScript (JS) ロジック入門	6	パイプコーディングを活用した高度なSQLクエリ (CRUD & JOIN)
7	デザインシステムとAIアセットの生成 (Google AI Studio活用)	7	クラウドDB連携 (Supabase & API統合)
8	Project Week : レスポンシブなマルチページビジネスサイトの制作	8	Project Week : SNSマーケティング連携入学相談CRMダッシュボード
9	複雑なデータ構造とAI基盤のロジック設計 (Array & Object)	9	システムプロンプトエンジニアリングとAIペルソナ制御
10	状態管理 (State) と動的UIの同期化	10	フューショットラーニング (Few-Shot Learning) とデータに基づくモデル最適化
11	AI-Drivenデバッグと単体テスト (Unit Test)	11	独自データ連携の基礎 : RAG (検索拡張生成) コンセプトの体験
12	Project Week : データ駆動型インタラクティブ家計簿アプリの制作	12	Project Week : 企業向けナレッジベースAIヘルプデスクの制作
13	非同期プログラミングと「待機」の美学 (Async/Await)	13	AI基盤の実践トラブルシューティングと障害報告書 (RCA) の作成
14	外部API連携 : 世界のデータを自分のWebへ (Fetch API)	14	クリーンコード (Clean Code) とAI自動リファクタリング
15	Google Gemini API : 自分のサービスにAIの頭脳を組み込む	15	テスト自動化の導入 : バグを未然に防ぐ
16	Project Week : AIマルチアシスタントプラットフォームの制作	16	Project Week : レガシーコードの救出とCI/CDパイプラインの構築
17	サービス企画書の導出とAI基盤アーキテクチャ設計	17	最終ビジネスソリューションの企画とアーキテクチャの確定
18	フロントエンドおよびAIロジックの統合開発 (MVP実装)	18	パイプコーディング基盤のフルスタック開発とAIモデルの高度化連携
19	テスト、デバッグ、例外処理 (UX/UI改善)	19	最終QA、クラウドデプロイ、パフォーマンスの最適化
20	Project Week : 1学期サービスの最終デプロイと発表準備	20	ポートフォリオの完成とAI模擬技術面接 (最終評価)

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
プロンプトエンジニアリング	1・2年生	4	金 守東	水・3限目
	通年			

概要

生成AIの基礎から業務自動化、独自AI構築まで、未経験からIT現場の即戦力となるプロンプト技術を40週で実践的に学びます。

到達目標

主要AIを自在に操り、企画・開発・データ分析を自動化するポートフォリオを完成させ、日本IT企業就職のための実践力を養います。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(10%)、課題(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	生成型AIの原理とプロンプトエンジニアリングの役割	1	議事録の要約とAction Itemの自動抽出
2	プロンプトの基本構造（指示、文脈、入力、出力）	2	コールドメールとビジネス提案書の草案作成
3	3大AI（Gemini、ChatGPT、Claude）の特徴と長所・短所の比較	3	WBS（作業分解構成図）とプロジェクト企画書の生成
4	Project Week：自分の業務を助けるAIアシスタントのプロトタイプ企画	4	Project Week：新規ITサービス提案書のフルパッケージ（企画～メイ
5	ゼロショット（Zero-shot）& フューショット（Few-shot）プロンプティング	5	モデル別（Gemini、GPT、Claude）パラメータの理解と最適化
6	Chain of Thought（CoT）論理的思考誘導技法	6	マルチモーダル（画像、文書認識）プロンプトエンジニアリング
7	ハルシネーション（幻覚）の制御と条件付き出力技法	7	長い文書（Long-context）の処理と要約戦略
8	Project Week：複合的な実務問題解決のための多段階プロンプト設計	8	Project Week：複合データ（画像+PDF）に基づく総合市場調査シ
9	役割付与（Role-playing）技法の実務適用	9	プロンプトテンプレートの標準化とフレームワーク設計
10	ブランドガイドラインとトーン&マナー（Tone & Manner）の学習	10	反復業務自動化のためのプロンプトチェイニング（Chaining）
11	ターゲットオーディエンスに合わせたコミュニケーションプロンプト	11	ZapierなどのノーコードツールとAI連携の理解
12	Project Week：企業PR用マルチチャネルマーケティングのコピーライティング	12	Project Week：実務の反復プロセス（CS対応など）の自動化ワーク
13	Rawデータのクリーニングと要約プロンプト	13	RAG（検索拡張生成）の概念と実務的な意味
14	データに基づいたインサイトの導出とレポート作成	14	カスタムインストラクション（Custom Instructions）の高度化
15	コードインタプリタとAIを活用したデータ視覚化の基礎	15	独自データを活用したカスタマイズチャットボット/エージェントの作成
16	Project Week：仮想企業の売上データ分析と週間レポートの自動生	16	Project Week：社内規定とマニュアルに基づく新入社員用AIヘルプデ
17	非専攻者のためのコード説明とコメント作成プロンプト	17	実務プロジェクトの企画とプロンプトアーキテクチャ設計
18	コードのデバッグとリファクタリングの要請技法	18	プロジェクトの実装とプロンプトチューニング（Troubleshooting）
19	企画者のためのHTML/CSS/JS Webプロトタイプ生成	19	成果物の導出とドキュメント化（GitHub、Notionなど）
20	Project Week：AIとペアプログラミングによる簡単なランディングページ	20	Project Week：最終卒業ポートフォリオの発表と講評

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
データベース基礎と情報保護	2年次	4	金守東	木・1限目
	通年			

概要

RDBからNoSQL、セキュリティやBaaSまで、日本のIT企業が求める実践的なデータベース構築・運用スキルをゼロから体系的に学びます。

到達目標

未経験から安全かつ拡張性の高いハイブリッドDBシステムを自力で設計・構築し、即戦力となるバックエンドの専門性を確立します。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(40%)、出席(40%)、小テスト(10%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データベース概論とMySQL環境の構築	1	Firestore Security Rulesの基礎 (読み取り/書き込み権限の制御)
2	SQL基礎1 - データ定義言語(DDL)と操作言語(DML)	2	ユーザー認証 (Authentication) の連携と所有者の検証
3	SQL基礎2 - データ取得(SELECT)と基本関数	3	データ整合性の検証と複合ルール (Data Validation)
4	総合実習: 学生管理データベース構築ミニプロジェクト	4	総合実習: 安全なSNSフィードデータベース構築
5	ERDの基礎とテーブル間の関係 (Relationship)	5	Supabaseの環境設定とPostgresベースのBaaSの理解
6	データの正規化 (Normalization) - データの無駄を排除	6	Supabase Authentication (認証) の連携
7	JOIN - 分散したデータを一つにまとめる	7	Supabase Storageとデータベースの連携
8	総合実習: ショッピングモールデータベースモデリングプロジェクト	8	総合実習: 認証基盤の会員管理プロジェクト
9	PostgreSQLの導入とサブクエリ (Subquery) マスター	9	RLS (Row Level Security) の基礎とポリシー (Policy) 作成
10	インデックス (Index) とビュー (View) によるパフォーマンス最適化	10	データベースのトリガー (Trigger) と自動化
11	高度な集計とウィンドウ関数 (Window Function)	11	Edge FunctionsとWebhookを利用した外部API連携
12	総合実習: 大容量データ取得最適化プロジェクト	12	総合実習: セキュリティと自動化が結合された実務API構築
13	ユーザー権限 (Role) の制御とアクセス管理	13	RDBとNoSQLのハイブリッドアーキテクチャ設計 (Polyglot Persistence)
14	SQLインジェクション (Injection) の原理とセキュアコーディング	14	トランザクション (Transaction) とACID特性の完全な制御
15	データの暗号化と監査 (Audit) ログ	15	データバックアップ (Backup) とマイグレーション戦略
16	総合実習: 社内人事データセキュリティ管理プロジェクト	16	総合実習: 災害復旧 (DR) シナリオ実習
17	RDBとNoSQLの違いとFirestoreの導入	17	期末プロジェクトの要件分析と総合データベース設計
18	Firestoreデータモデリング (Collection & Document)	18	フロントエンドの連携とハイブリッドアーキテクチャの実装
19	Firestoreの基本CRUDとクエリ (Query) の活用	19	総合セキュリティ監査 (Security Audit) とパフォーマンスチューニング
20	総合実習: リアルタイムチャットDBモデリングプロジェクト	20	総合実習: 最終ポートフォリオの完成と日本IT企業模擬面接

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
Pythonプログラミング基礎	1・2年生	4	金 守東	木・2限目
	通年			

概要

AI(Cursor)とPythonを活用し、未経験の留学生でも40週間で実務直結の自動化ツールを構築できる実践講座です。

到達目標

Pythonの基礎からAPI・RPAまで習得し、実務現場に即投入可能な独自のAI活用ポートフォリオを完成させます。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	PythonとAI開発環境 (Cursor AI) の構築	1	データの永続的保存：テキストファイルの読み書き
2	データを入れる器：変数と基本データ型	2	構造化されたデータを扱う：CSVファイルの読み書き
3	データの加工：演算子と動的入出力	3	ファイルシステムの制御：ファイルとフォルダを思いのままに (os, pathlib)
4	総合実習 (Project Week)	4	総合実習 (Project Week)
5	プログラムの判断力：条件文 (if, elif, else)	5	現実世界をコードでモデリング：クラスとオブジェクトの誕生
6	反復業務の終結者：forループとリストの巡回	6	オブジェクトの初期化と状態管理：コンストラクタ (Constructor) とself
7	無限ループと条件反復：while文とデバッグの基礎	7	コードの進化と再利用：継承 (Inheritance) とポリモーフィズム (多態)
8	総合実習 (Project Week)	8	総合実習 (Project Week)
9	データの羅列と加工：リスト (List) の深化とタプル (Tuple)	9	インターネットの向こうのデータ：HTTP通信の基礎とrequestsモジュール
10	キー (Key) と値 (Value) のペア：辞書 (Dictionary)	10	万国共通のデータ言語：JSON形式とハンドリング
11	重複の排除と集合演算：セット (Set) とデータ構造の変換	11	外部サービス連携：Open APIの活用と認証 (Auth)
12	総合実習 (Project Week)	12	総合実習 (Project Week)
13	コードの再利用：関数 (Function) の定義と呼び出し	13	Excelの単純作業の終焉：openpyxlの基礎
14	データの入出力：パラメータ (Parameter) と戻り値 (Return)	14	コミュニケーションの自動化：Pythonでメール (Email) を大量送信する
15	変数の寿命と範囲：スコープ (Scope) の理解	15	システムが自ら働くようにする：タスクスケジューリング (Task Scheduling)
16	総合実習 (Project Week)	16	総合実習 (Project Week)
17	絶対に死なないプログラム：例外処理 (try-except)	17	プロジェクトの始まり：アイデアの企画と要件定義 (PRD)
18	Pythonの基本武器庫：組み込みモジュール (Built-in Modules)	18	コアエンジンの制作：AIベアプログラミングとロジックの実装
19	無限の拡張：外部パッケージ管理 (pipとvenv)	19	欠陥のないソフトウェア：デバッグ、リファクタリング、および防御コードの構築
20	総合実習 (Project Week)	20	リリースと証明：ポートフォリオのドキュメント化 (README) と最終発表

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSマーケティング概論	1・2年生	4	金 守東	木・3限目
	通年			

概要

生成AIとSNSツールを駆使し、戦略立案からコンテンツ制作、データ分析までを包括的に習得する、就職直結型の実践的なマーケティング講座です

到達目標

AIを活用して各SNSに最適なコンテンツを制作し、データに基づいた広告運用や統合的なマーケティング戦略を自ら立案・実行できる能力を養います。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	SNSマーケティングの本質と顧客ペルソナの設定	1	YouTubeチャンネルの企画とアルゴリズムの理解
2	Canvaを活用したビジュアルストーリーテリング	2	Vrewを活用したAI基盤の効率的な動画編集
3	Google NanoBanana 2を活用したAIマーケティングアセットの生成	3	高クリックを誘導するサムネイルデザインとタイトルの公式
4	Project Week : ブランドビジュアルガイドラインの構築	4	Project Week : YouTubeチャンネルの立ち上げと運営レポート
5	人を動かすコピーライティングとマーケティングの文章術	5	Facebookビジネスページの構築と信頼マーケティング
6	日本市場必須、X (Twitter) のアルゴリズムと拡散戦略	6	ターゲットオーディエンスの設定と精巧な広告ターゲティングの基礎
7	コミュニティビルディングとXのプロフィール最適化	7	CS (カスタマーサービス) マニュアルとレビュー/コミュニティ管理
8	Project Week : X中心の統合テキストマーケティングキャンペーン	8	Project Week : コミュニティ運営と統合コミュニケーション戦略
9	Instagramのアルゴリズムとビジュアルブランディング戦略	9	パフォーマンスマーケティングの基礎と広告目標の設定
10	Instagramのストーリーとハイライトの活用 (CRM)	10	高効率な広告クリエイティブの制作とA/Bテスト
11	ハッシュタグ戦略とインフルエンサーコラボレーションの基礎	11	データ分析リテラシーとダッシュボード報告
12	Project Week : Instagramブランドアカウントの立ち上げ企画	12	Project Week : パフォーマンスマーケティングキャンペーンの最終結果報
13	プロンプトエンジニアリングとAIビジュアル戦略	13	インフルエンサーマーケティングの構造と適切なパートナーの選定
14	AI基盤の一貫したブランドキャラクターとアセットの制作	14	コラボレーション提案書 (Casting) の作成と契約実務
15	AIデザインアセットの商業的利用と著作権	15	アフィリエイトマーケティング (Affiliate) とキャンペーンのROI測定
16	Project Week : AIブランディングキット (Branding Kit) の完成	16	Project Week : インフルエンサーコラボレーションキャンペーンの企画と移
17	ショートフォームのアルゴリズムと「3秒ルール」の企画力	17	オムニチャネル (Omni-Channel) 統合マーケティング戦略 (IMC)
18	CapCutの高度な編集技術と視覚効果 (VFX)	18	就職成功のための実務型ポートフォリオの構造化
19	ショートフォームチャレンジとトレンドマーケティングの運営戦略	19	日本のIT/マーケティング業界のトレンド分析と面接戦略
20	Project Week : ショートフォームシリーズの企画と制作	20	Project Week : 最終統合キャンペーンの発表と修了展示

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSコンテンツ制作の自動化	1年次	4	金守東	金・2限目
	通年			

概要

最新のAI技術を活用し、SNS戦略の立案から画像・動画の自動生成、データ分析、運用自動化までを網羅的に習得する、超実践型のコンテンツ制作講座です。

到達目標

AIツールを自在に操り、独創的なコンテンツを効率的に量産できる「AIディレクター」として、企業の即戦力となる実務能力と実績を確立します。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	プロンプトエンジニアリング：AIと対話する方法	1	プラットフォーム別のUI/UX分析とリパーバシング (Repurposing)
2	ターゲットペルソナおよびコンテンツ戦略の策定	2	AIコピーライティングとSEOハッシュタグ戦略
3	テキストの視覚化：コピーライティングとレイアウト企画	3	サムネイルの自動制作とA/Bテスト企画
4	Project Week：AI基盤のブランド立ち上げ企画	4	Project Week：多言語グローバル配信システムの構築
5	Canva & MiriCanvas AI：マジックスタジオの活用法	5	SNSインサイトデータの理解と抽出
6	データに基づくデザインの大量生成 (Bulk Create)	6	Geminiを活用したAIデータ分析と視覚化
7	ブランドアイデンティティの自動適用と一貫性の維持	7	視聴者のフィードバック (コメント) の感情分析と反映
8	Project Week：マルチチャネルデザインセットの完成	8	Project Week：週間成果分析ダッシュボードの制作
9	Google Nano Banana 2：テキスト・トゥ・イメージ (T2I) マスター	9	ノーコード自動化の理解とZapier/Make入門
10	画像編集とスタイルトランスファー (Image-to-Image)	10	AIニュース自動キュレーションシステムの構築
11	AIキャラクターと一貫したブランドアセットの生成	11	SNSの自動予約投稿とマルチチャネル配信
12	Project Week：AIビジュアル広告キャンペーンの完成	12	Project Week：「無人」SNSチャンネル運営テスト
13	AIによる草案作成：テキストで動画を作る (Text-to-Video)	13	コンテンツ収益化戦略とビジネスモデル (BM) 設計
14	スマート字幕とスタイリングの自動化	14	Meta (Instagram/Facebook) AI広告マネージャー実務
15	オーディオリマスタリングとAI背景音楽 (BGM) の最適化	15	ランディングページの制作とAIコピーライティングの最適化
16	Project Week：ニュースキュレーションチャンネルの構築	16	Project Week：マーケティングキャンペーン総合レポート
17	CapCut PC：AIスマートカットとモーショングラフィックス	17	パーソナルブランディングとポートフォリオ戦略の策定
18	AI音声の複製とサウンドデザインの最適化	18	プロジェクトのケーススタディ (Case Study) の深化作成
19	AIスタイル変更とフィルターの自動化 (Video-to-Video)	19	動画ポートフォリオ (Showreel) の制作と最終検収
20	Project Week：高没入型ショートフォーム広告の完成	20	Project Week：最終発表と未来へのロードマップ設計

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AIデータ分析概論	1年次	4	金守東	金・3限目
	通年			

概要

Pythonとライブラリを駆使し、データ収集・分析からAIモデル構築までの実務プロセスを体系的に学ぶカリキュラムです。

到達目標

データ前処理・統計・機械学習のスキルを習得し、ビジネス課題の解決や独自の分析ポートフォリオを作成できるようになります。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データ分析の世界と開発環境の構築	1	Matplotlibの基礎と基本チャートの描画
2	データハンドリングのためのPython基礎 (変数、データ構造)	2	Seabornを活用した高度な統計視覚化
3	制御文と関数：分析パイプラインの自動化	3	インサイト伝達のための視覚化戦略 (UI/UX)
4	Project Week：初めてのデータパイプライン設計	4	Project Week：データストーリーテリングとダッシュボード企画
5	NumPyの理解と多次元配列(ndArray)の生成	5	確率分布と標本抽出 (Sampling)
6	配列のインデックス参照、スライシング、次元変更	6	仮説検定 (Hypothesis Testing) とP-value
7	ベクトル化演算とブロードキャスト (Broadcasting)	7	相関関係と因果関係 (Correlation vs Causality)
8	Project Week：NumPy基盤の簡単な線形回帰の実装	8	Project Week：ビジネスA/Bテストの設計と分析
9	Pandasの構造：SeriesとDataFrameの理解	9	機械学習の概念と教師あり学習 (Supervised Learning)
10	外部データのロードとインデックス参照/スライシング	10	単回帰および重回帰分析 (Linear Regression)
11	データの並べ替えと基本演算 (静的分析の基礎)	11	モデル評価指標と過学習 (Overfitting)
12	Project Week：公共データを活用した地域別トレンド分析	12	Project Week：時系列データを活用した需要予測モデル
13	欠損値の処理とデータクリーニング (Data Cleaning)	13	ロジスティック回帰と二値分類 (Binary Classification)
14	データの結合とマージ (Merge & Concatenate)	14	決定木 (Decision Tree) とアンサンブルの基礎
15	グループ化分析 (GroupBy) とピボットテーブル	15	テキストデータの前処理と形態素解析
16	Project Week：顧客セグメント分析とレポート	16	Project Week：感情分析 (Sentiment Analysis) モデル
17	データのスケールと正規化 (Scaling & Normalization)	17	プロジェクト企画とデータ収集 (Scraping & API)
18	カテゴリデータのエンコーディング (Encoding)	18	統合前処理パイプラインとEDAの深化
19	異常値の検出と派生変数の生成	19	ハイパーパラメータのチューニングとモデルの最適化
20	Project Week：探索的データ分析(EDA)レポートの完成	20	最終発表とGitHubポートフォリオのデプロイ

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2026年度 韓国語・IT学科 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AIデータ分析応用	2年次	4	金 守東	金・3限目
	通年			

概要

Pythonとライブラリを駆使し、データ収集・分析からAIモデル構築までの実務プロセスを体系的に学ぶカリキュラムです。

到達目標

データ前処理・統計・機械学習のスキルを習得し、ビジネス課題の解決や独自の分析ポートフォリオを作成できるようになります。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(30%)、出席(40%)、小テスト(20%)、課題(10%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データ分析の世界と開発環境の構築	1	Matplotlibの基礎と基本チャートの描画
2	データハンドリングのためのPython基礎 (変数、データ構造)	2	Seabornを活用した高度な統計視覚化
3	制御文と関数：分析パイプラインの自動化	3	インサイト伝達のための視覚化戦略 (UI/UX)
4	Project Week：初めてのデータパイプライン設計	4	Project Week：データストーリーテリングとダッシュボード企画
5	NumPyの理解と多次元配列(ndArray)の生成	5	確率分布と標本抽出 (Sampling)
6	配列のインデックス参照、スライシング、次元変更	6	仮説検定 (Hypothesis Testing) とP-value
7	ベクトル化演算とブロードキャスト (Broadcasting)	7	相関関係と因果関係 (Correlation vs Causality)
8	Project Week：NumPy基盤の簡単な線形回帰の実装	8	Project Week：ビジネスA/Bテストの設計と分析
9	Pandasの構造：SeriesとDataFrameの理解	9	機械学習の概念と教師あり学習 (Supervised Learning)
10	外部データのロードとインデックス参照/スライシング	10	単回帰および重回帰分析 (Linear Regression)
11	データの並べ替えと基本演算 (静的分析の基礎)	11	モデル評価指標と過学習 (Overfitting)
12	Project Week：公共データを活用した地域別トレンド分析	12	Project Week：時系列データを活用した需要予測モデル
13	欠損値の処理とデータクリーニング (Data Cleaning)	13	ロジスティック回帰と二値分類 (Binary Classification)
14	データの結合とマージ (Merge & Concatenate)	14	決定木 (Decision Tree) とアンサンブルの基礎
15	グループ化分析 (GroupBy) とピボットテーブル	15	テキストデータの前処理と形態素解析
16	Project Week：顧客セグメント分析とレポート	16	Project Week：感情分析 (Sentiment Analysis) モデル
17	データのスケールと正規化 (Scaling & Normalization)	17	プロジェクト企画とデータ収集 (Scraping & API)
18	カテゴリデータのエンコーディング (Encoding)	18	統合前処理パイプラインとEDAの深化
19	異常値の検出と派生変数の生成	19	ハイパーパラメータのチューニングとモデルの最適化
20	Project Week：探索的データ分析(EDA)レポートの完成	20	最終発表とGitHubポートフォリオのデプロイ

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。